



スパークス・アジア・パシフィック・ヘッジファンド・オープン

愛称: アジアン・ダイナミズム

基準日 2011年12月30日

*設定日を10,000とします



基準価額 6,668円
純資産総額 2.3億円

騰落率		直近の分配実績(円)	
1ヶ月	0.09%	第1期	-
3ヶ月	-1.26%	第2期	-
6ヶ月	-6.86%	第3期	-
1年	-7.68%	第4期	-
3年	-11.81%		
設定来	-33.32%	合計	-

<ポートフォリオの状況>	
ユーロ円債の組入比率	0.0%
その他の資産	100.0%

※ファンドの過去のパフォーマンスは月末値により算出。信託報酬・実績報酬等控除後になります。決算期に収益分配があった場合のファンドのパフォーマンスは、分配金(税金控除前)を再投資することにより算出される収益率です。従って実際の投資家利回りとは異なります。

※右記の円ドルレートは、基準価額評価日の2営業日前のレートを参照しております。

円ドルレート※	
11月28日	: 77.66円
12月28日	: 77.82円

ファンドの仕組み

【委託会社】

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ユーロ円債に投資するスパークス・アジア・パシフィック・ヘッジファンド・オープンの運用を行います。

【ユーロ円債の発行体】

ナティクス

MCPの運用するファンド・オブ・ヘッジファンズ の値動きを参照するユーロ円債を発行します。

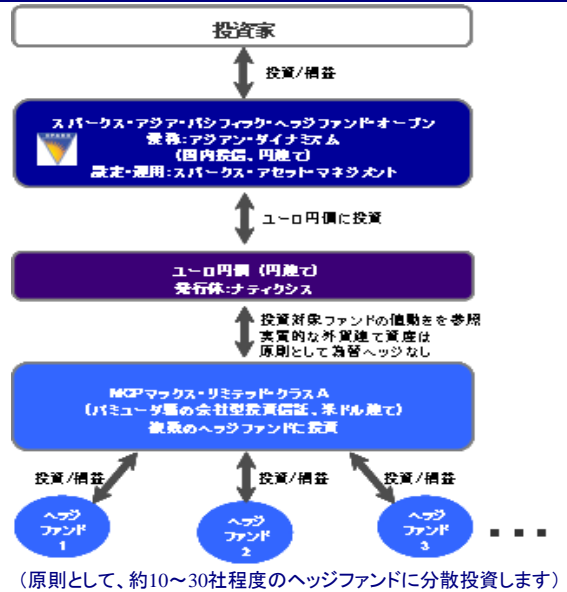
■ナティクスは、フランスそして欧州においてリーダー格のバンキング・プレーヤーです。5つの主要な事業活動(コーポレート・アンド・インベストメント・バンキング業務、資産運用業務、売掛債権管理業務、プライベートエクイティ業務、富裕層向け資産運用業務)を通じてサービスを提供しています。

■2011年12月末現在の格付けは、Aa3 (Moody's)、A+ (S&P)です。

【投資運用会社】

MCPアセット・マネジメント・カンパニー・リミテッド

アジア・太平洋地域に特化したMCPマックス・リミテッド・クラスAの運用はMCPアセット・マネジメント・カンパニー・リミテッドが行います。またヘッジファンドの選定も行っております。



ファンドの特色

- 主としてユーロ円債への投資を通じて、MCPが運用するファンド・オブ・ヘッジファンズ「MCPマックス・リミテッド・クラスA」へ実質的に投資します。ナティクスが発行するユーロ円債への投資を行います。実質的な外貨建て資産は原則として為替ヘッジを行いません。
- アジア・太平洋地域を投資対象とした複数のヘッジファンドに実質的に投資することにより、リスク分散を図りつつ、安定した収益の獲得を目指します。投資対象国は日本、中国(含む香港)、韓国、シンガポール、オーストラリア、インドなど、高い成長力が期待されている国および地域です。
- MCPは、アジア・太平洋地域を投資対象とした複数のヘッジファンドを選定し、ファンド・オブ・ヘッジファンズの運用を行います。

※ 本ファンドは2012年1月17日を以って繰上償還となります。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込みを行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・アジア・パシフィック・ヘッジファンド・オープン

愛称: アジアン・ダイナミズム

主な投資リスク

当ファンドは、主としてユーロ円債など値動きのある有価証券等に投資を行いますので、組み入れられた証券などの値動きによって基準価額は大きく変動します。従って金融機関の預金と異なり、投資元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、ファンドは預金ではなく、預金保険の対象外です。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

価格変動リスク 当ファンドは、主としてユーロ円債を主要投資対象とし、ユーロ円債を通じて複数のヘッジファンドに投資を行うスパークス・マックス・リミテッド・クラスA(パビューダ籍、会社型投資信託、米ドル建て)に実質的に投資を行います。スパークス・マックス・リミテッド・クラスAは複数のヘッジファンドに投資を行い、投資先の各ヘッジファンドの価格変動の影響を受けます。投資先の各ヘッジファンドの価格が下落した際は、損失が生じる要因となります。

為替リスク 当ファンドは、ユーロ円債への投資を通じて実質的に外貨建て資産に投資を行います。当ファンドの基準価額は円建てで表示されますので、実質的な投資対象国の通貨と日本円との間の為替の値動きの影響を受けます。外国為替相場の変動により、実質的に投資を行う外貨建て資産の価格が変動し、これにより、当ファンドの基準価額も変動します。

信用リスク ユーロ円債の発行体の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合にはユーロ円債の価格が大きく下落する場合があります。また、利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となる可能性があります。このような場合、当ファンドの基準価額が大きく下落する場合があります。

ユーロ円債への投資にかかるリスク 当ファンドの解約に対応した資金の払い出しのため、ユーロ円債の発行体は一時的に借り入れを行う場合があります。この借り入れにかかるコストは、原則として解約の請求の実行を行ったものが信託財産留保額を負担することにより賄われますが、信託財産留保額を超えるものに関しては信託財産中から支弁します。これにより、当ファンドの基準価額も変動します。また、一時的に、当ファンドにおける決済のタイミングとスパークス・マックス・リミテッド・クラスAにおける決済のタイミングにずれが生じる場合があります。このためその期間中の運用にレバレッジがかかる可能性があります。

実質的な投資対象の運用成績と乖離が生じるリスク 当ファンドは、スパークス・マックス・リミテッド・クラスAに実質的に投資を行います。当ファンド固有の運用コストが追加で発生すること、当ファンドの資産の一部は預金等に投資されることから、スパークス・マックス・リミテッド・クラスAの運用成績を円換算したものと乖離が生じることがあります。

その他リスク 予測が不可能な事態、(天変地災、テロ行為等)が起きた場合、市場が混乱することが考えられ、市場閉鎖や急激な市況変動が起こることがあります。このような場合、金融商品取引所等の取引停止等やむを得ない事情がある時は一時的に取引等ができないこともあります。また、これらにより、当ファンドの運用方針に基づく運用が出来なくなるリスクもあります。また、当ファンドの資産の評価にあたっては、一部日数を要するものがあり、市場における価格変動が基準価額に直ちに反映されない場合があります。当ファンドは、取得申込時および解約の請求時において、受益者の申込日から当該実行の基準価額が確定するまで1ヵ月以上かかるため、取得申込時および解約の請求時の基準価額と実際に適用される基準価額が大きく異なる場合があります。また、解約については、換金まで1ヵ月以上の期日を要する点についてもご注意ください。信託財産の資金管理を円滑に行うために大口の解約請求には制限を設ける場合があります。また、解約の請求総額が多額な場合、金融商品取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、解約の実行の請求の受付を中止すること、およびすでに受付けた解約の実行の請求の受付を取り消すことができます。

<ご参考>スパークス・マックス・リミテッド・クラスAの主なリスク

価格変動リスク 当ファンドが保有する個別ヘッジファンドは保有する有価証券等の値動き等により上下しますので、これによりファンドの一口当たり純資産価格が変動し、損失を被る場合があります。したがって投資元本が保証されているものではありません。

新興国市場投資リスク 当ファンドは、新興国市場への投資も行います。新興国市場への投資は先進国への投資と比較して価格変動、流動性、為替変動、政治要因等のリスクが高いと考えられています。その結果、国有化、資産の収用、あるいは通貨返還の制限等により、かかる国への投資はリスクを増大することがあります。

レバレッジの利用によるリスク 個別のヘッジファンドは、デリバティブや借り入れを用い、レバレッジを利用することがあります。レバレッジを高めるほど、当該ポジションの価格において大幅な上昇あるいは下落の変動の可能性が高まります。

独立したヘッジファンドへの投資によるリスク ヘッジファンドは互いに独立して取引を行っており、場合によってはお互いに相殺し合うポジションを保有することがあり、ファンド・オブ・ヘッジファンド全体としては、発生しうる費用にかかわらず、実質的な投資が行えない場合があります。

為替変動リスク 当ファンドの一口当たり純資産価格は米ドル建てで表示されますので、実質的な投資対象国の通貨と米ドルとの間の為替変動の影響を受けます。外国為替相場の変動により実質的に投資を行う、米ドル建て以外の通貨建て資産の価格が変動し、これにより一口当たり純資産価格も変動します。

取引相手に係るリスク 当ファンドは取引相手のパフォーマンスや信用リスクを受けることになり得る、スワップ、貸付などの取引を行うファンドに投資を行うことがあります。

流動性リスク 当ファンドは流動性の低い資産に投資をするファンドに投資を行う場合があり、当該資産の価格が大きく変動する局面での換金には、長い時間がかかる場合があります。

運用コスト 当ファンドは、個別のヘッジファンドへの投資を通じて直接的、間接的に多額のコストを負担しなければならない場合があります。また、個別のヘッジファンドは、たとえ当ファンドが利益を実現していない場合でも運用報酬および成功報酬を受け取ることがあります。

<ご参考>ヘッジファンドの代表的な投資戦略におけるリスク

ロング・ショート戦略 当戦略を用いるヘッジファンドではロングまたはショートのバイアスがあり、証券市場の下落あるいは上昇に伴い、損失が生じる可能性があります。また、ロングポジションおよびショートポジションの双方が誤っていた場合、双方に損失が発生しますので、当ヘッジファンドの価格は大きく変動します。

イベント・ドリブン戦略 当戦略ではM&A(企業合併・買収)などのイベントが、想定通りに発生または完了するかどうか依存します。当初想定したイベントが発生または完了しない場合には損失が生じる可能性があります。

レバティブ・バリュー戦略 当戦略では、株式とオプション間の価格の乖離などのように、相互関係にある証券の相対価格の歪みを捕らえることで、収益を追求しますが、この歪みが想定外の方向に動く場合があります。この場合には、損失が生じる可能性があります。

グローバル・マクロ戦略 当戦略では、世界経済・政治および資源の需給等の予測を基に、世界の株式、金利、為替、商品などの動きを予想し投資を行うことから、この予想と市場の動きが異なった場合には、損失が生じる可能性があります。

注)上記は、ヘッジファンドにおける代表的な戦略のリスクを示したものであり、スパークス・マックス・リミテッド・クラスAが投資を行うヘッジファンドは、上記の戦略を採用するヘッジファンドに限定されません。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申し込みを行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。

■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。

■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・アジア・パシフィック・ヘッジファンド・オープン

愛称: アジアン・ダイナミズム

お申込メモ (お申込の際には投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面でご確認ください。)

ファンド名	スパークス・アジア・パシフィック・ヘッジファンド・オープン (愛称:アジアン・ダイナミズム)	ご解約単位	1口単位
商品分類	追加型投信/内外/債券/特殊型	解約価額	解約請求指定日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
信託期間	平成18年12月18日～平成24年1月17日	解約代金の受渡	解約請求指定日から起算して10営業日
繰上償還	本ファンドは平成24年1月17日を以って繰上償還となります。	受付締切時間	取得お申込、ご解約お申込とも受付は午後3時まで。
決算日	11月15日(休業日の場合は翌営業日)		
収益分配	年1回の決算時(原則として11月15日(休業日の場合は翌営業日))に約款に定める収益分配方針に基づいて、収益の分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。		
お申込	毎月25日(休業日の場合は翌営業日)を取得申込指定日として、当該指定日の属する月の前々月の17日(休業日の場合は翌営業日)から当該指定日の属する月の前月の16日(休業日の場合は前営業日)までの期間に取得申込ができます。		
お申込時間	原則としてお申込時間は、午後3時までです。 当該時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。		
お申込単位	みずほ銀行におけるお申込単位は、3,000万円以上1万円単位です。ただし販売会社によって異なる場合がございます。		
お申込窓口	販売会社の本・支店等		
お申込価額	取得申込指定日の基準価額		
ご解約	毎月25日(休業日の場合は翌営業日)を解約請求指定日として、当該指定日の属する月の前々月の17日(休業日の場合は翌営業日)から当該指定日の属する月の前月の16日(休業日の場合は前営業日)までの期間において解約のご請求ができます。 ※信託財産の資金管理を円滑に行うために大口の解約請求には制限を設ける場合があります。また、解約の請求総額が多額な場合、金融商品取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情がある時には、解約の実行の請求の受付を中止すること、および既に受けた解約の実行の請求の受付を取り消すことが出来ます。		
		■お申込時	
		お申込手数料	みずほ銀行におけるお申込手数料は、お申込の金額に応じて下記の手数料率を取得申込指定日の基準価額に乗じて得た額です。 1億円未満の場合3.15%(税抜3%) 1億円以上の場合2.10%(税抜2%) ただし、販売会社によって異なる場合がございます。
		■ご解約時	
		信託財産留保額	解約請求指定日の基準価額の0.5%
		解約手数料	なし
		■保有期間中(信託財産から間接的にご負担いただきます。)	
		信託報酬年率	0.735%(税抜0.7%)
			上記とは別に、ユーロ円債の参照対象となるファンド・オブ・ファンズの報酬として、年率1.5%の信託報酬および運用実績が設定来の決算期末毎の基準価額のうち最も高い基準価額以上に達した場合には、その超過部分の10%の実績報酬がかかります。そのほか、個々のヘッジファンドにおける運用報酬(概ね1.5-2.0%程度)と実績報酬(「超過部分」の10-20%)、その他ユーロ円債に係る諸費用等が発生することがあります。詳しくは目論見書をご確認下さい。
		その他	(1)監査報酬、投資信託説明書(交付目論見書)や運用報告書等の作成費用などの諸費用[純資産総額に対し上限年率0.105%(税込)] (2)有価証券売買時の売買委託手数料(ファンドの運用による取引量に応じて異なりますので、表示することができません。)

お客様にご負担いただく手数料等について

上記手数料等の合計額については、お申込金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

■お申込時

お申込手数料 みずほ銀行におけるお申込手数料は、お申込の金額に応じて下記の手数料率を取得申込指定日の基準価額に乗じて得た額です。

1億円未満の場合3.15%(税抜3%)

1億円以上の場合2.10%(税抜2%)

ただし、販売会社によって異なる場合がございます。

■ご解約時

信託財産留保額 解約請求指定日の基準価額の0.5%

解約手数料 なし

■保有期間中(信託財産から間接的にご負担いただきます。)

信託報酬年率 0.735%(税抜0.7%)

上記とは別に、ユーロ円債の参照対象となるファンド・オブ・ファンズの報酬として、年率1.5%の信託報酬および運用実績が設定来の決算期末毎の基準価額のうち最も高い基準価額以上に達した場合には、その超過部分の10%の実績報酬がかかります。そのほか、個々のヘッジファンドにおける運用報酬(概ね1.5-2.0%程度)と実績報酬(「超過部分」の10-20%)、その他ユーロ円債に係る諸費用等が発生することがあります。詳しくは目論見書をご確認下さい。

その他 (1)監査報酬、投資信託説明書(交付目論見書)や運用報告書等の作成費用などの諸費用[純資産総額に対し上限年率0.105%(税込)]

(2)有価証券売買時の売買委託手数料(ファンドの運用による取引量に応じて異なりますので、表示することができません。)

【課税上の取扱い】

原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。

※上記内容は平成20年10月末現在の税法であり、税法が改正された場合等には変更になることがあります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面でご確認ください。

ファンドの委託会社およびその他の関係法人の概要

●委託会社 スパークス・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第346号
(加入協会)(社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会 日本証券業協会
信託財産の運用指図、受益権の発行等を行います。

●受託会社 みずほ信託銀行株式会社

委託会社の指図に基づく信託財産の管理等を行います。なお、信託事務の一部につき資産管理サービス信託銀行株式会社に委託を行います。

●販売会社 株式会社みずほ銀行

登録金融機関 関東財務局長(登金)第3号
(加入協会)日本証券業協会 (社)金融先物取引業協会 (加入協会)(社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会 日本証券業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの受益権の募集・販売の取扱い、一部解約請求の受付、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いの取扱い等を行います。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込みを行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。

■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。